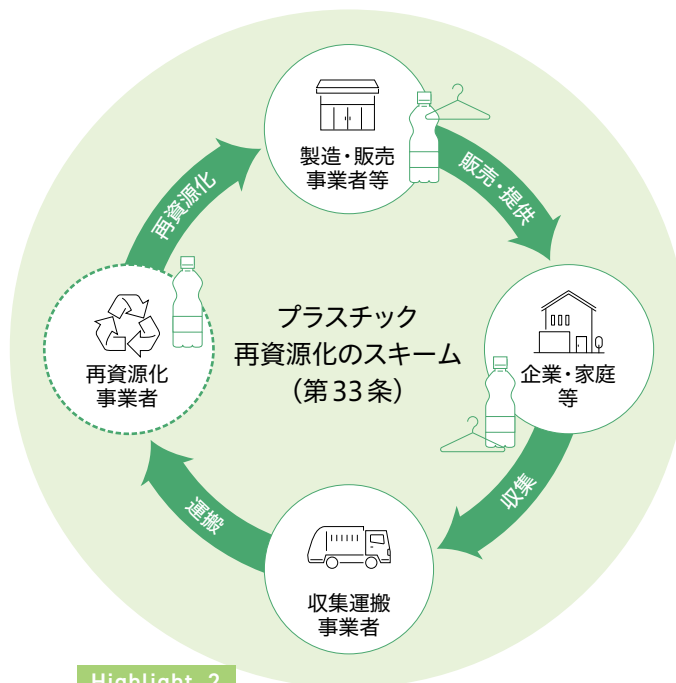


Highlight_1

自然共生サイトの認定を取得

連結子会社の(株)総合農林が所有する宮崎県三股町の社有林において、持続可能な森林経営を目指し、林産物の生産や生物多様性の保全、地域連携による景観整備など地域との共生に向けた取り組みを続けています。2023年10月には宮崎三股山林の一部である約500haのエリアで環境省「自然共生サイト」の認定を取得し、「生物多様性のための30by30 アライアンス」にも参加しました。

今後も地域住民や専門家と協力し、生態系に配慮したモニタリング管理、生態系保全のための手入れを続けていきます。

自然共生サイト
認定証授与式

Highlight_2

第33条※に基づくプラスチック
ごみ再商品化事業への参画

プラスチック資源循環法の施行により、自治体は同法に基づく環境大臣および経済産業大臣の認定を受けることで、プラスチック容器包装廃棄物のみならずプラスチック使用製品廃棄物のリサイクルにも主体的に取り組み、プラスチックの資源循環および脱炭素社会の構築をより一層推進することが可能になりました。大栄環境グループは本制度に基づく認定を受けた4自治体(大阪府堺市、京都府京都市、三重県菰野町・津市)の再商品化実施者として参画し、プラスチックの資源循環に貢献していきます。

※ 第33条:「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」(プラ新法)第33条

Highlight_3

生活協同組合コープこうべと
食品リサイクルループを構築

大栄環境(株)と生活協同組合コープこうべは、2024年3月、農林水産省と環境省から食品資源循環の再生利用等の促進に関する法律に基づく「再生利用事業計画(食品リサイクルループ)」の認定を取得しました。コープこうべで発生する食品廃棄物を堆肥にして、コープこうべグループの農場「コープエコファーム」で栽培に使用しています。そこで生産された農作物はコープこうべの一部店舗で販売されます。こうした食品廃棄物のリサイクル率向上と、地域資源の社会還元によって地域循環共生圏の構築を推進していきます。

